

一般貸切旅客自動車運送事業 法令試験問題

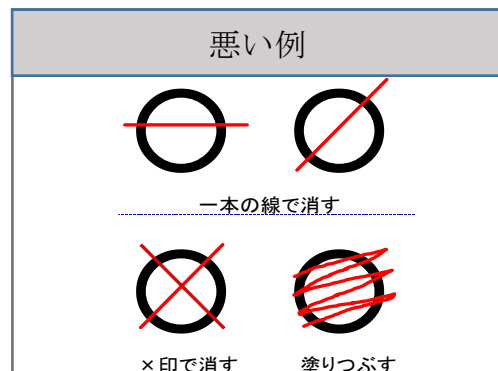
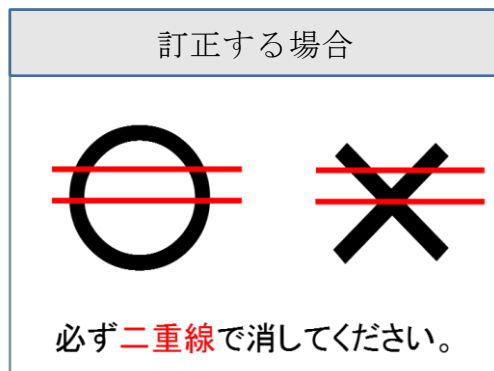
試験実施日 令和5年5月19日

事業者名 _____

受験者名 _____

【注意事項】

1. 試験時間は、45分間です。
2. 解答はボールペンで記載して下さい。
3. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないで下さい。
4. 問題用紙は、表紙を含めて4枚です。
5. 問題用紙は、持ち帰らないで下さい。
6. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格となります。



| 事務処理欄 | | |
|-------|--|-----|
| | | /30 |

中部運輸局

問 1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）内に記入して下さい。

- 1 一般貸切旅客自動車運送事業者は、いかなる場合であっても、乗合旅客の運送をしてはならない。 ()
- 2 旅客自動車運送事業者は、日日雇い入れる者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。 ()
- 3 事業用自動車の運転者等ごとに作成する乗務員等台帳には、運転者の運転の経歴を記載しなければならない。 ()
- 4 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後100日以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報であって国土交通大臣が告示で定める事項について、インターネット等を用いて公表しなければならない。 ()
- 5 一般貸切旅客自動車運送事業者は、営業区域内から営業区域外への運送は行うことができるが、営業区域外から営業区域内への運送は行うことができない。 ()
- 6 旅客自動車運送事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して1年間保存しなければならない。 ()
- 7 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を常に清潔に保持しなければならない。 ()
- 8 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送約款を変更するときは、30日前までに届け出なければならない。 ()
- 9 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫の収容能力を増加させる場合であって、事業用自動車の数に変更がない場合は、事業計画変更の手続きは必要はない。 ()
- 10 旅客自動車運送事業者は、天災その他の事故により、旅客が死亡したときは、すみやかに、その旨を家族に通知し、また、遺留品を保管しなければならない。 ()
- 11 一般貸切旅客自動車運送事業者の運転者は、乗務中は運行指示書を携行しなければならない。 ()
- 12 国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業者について旅客の利便を阻害している事実が認められた場合に限り、事業改善を命ずることができる。 ()

- 13 一般貸切旅客自動車運送事業における事業用自動車には、その自動車の外側に「一般」と表示しなければならない。 ()
- 14 一般旅客自動車運送事業者は、年齢、運転の経歴その他政令で定める一定の要件を備える者でなければ、その事業用自動車の運転をさせてはならない。ただし、当該運行が旅客の運送を目的としない場合は、この限りでない。 ()
- 15 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している旅客のために、適切な処置をしなければならないが、旅客の運送を継続することは含まれていない。 ()

問2 次の設問に、法及び規則並びに告示等の文のとおり正しい語句を () に記載して下さい。

- 16 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、 () 年ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。
- 17 一般貸切旅客自動車運送事業を営業者は、旅客の運賃及び料金を定め、あらかじめ、国土交通大臣に () なければならない。これを変更しようとするときも同様とする。
- 18 自動車運送事業の用に供する自動車は、 () ヶ月ごとに定期点検整備をしなければならない。
- 19 旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を () しておかななければならない。
- 20 一般旅客自動車運送事業者は、特定の旅客に対し、不当な () をしてはならない。

問3 以下の各設問の () 内に、正しい語句を [] 枠内から選択し、記号を記入して下さい。

- 21 自動車の () は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備することにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。
[A. 所有者 B. 使用者 C. 運転者]
- 22 旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、事業用自動車の運転者の () 及び乗務時間を定め、当該運転者

にこれらを遵守させなければならない。

[A. 休憩時間 B. 勤務時間 C. 出勤時間]

- 23 一般旅客自動車運送事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、
() に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。
[A. 運行管理規程 B. 就業規則 C. 事業計画]
- 24 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、主として運行する路線
又は営業区域の状態及びこれに対処することができる運転技術並びに法令に定める
() に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。
[A. 自動車の運転 B. 事業計画 C. 運行管理]
- 25 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、收受した運賃又は料金の () をし
てはならない。
[A. 割引 B. 払戻し C. 割戻し]
- 26 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、安全や ()
の向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進す
ることを目的としている。
[A. コンプライアンス B. 安心 C. 利用者サービス]
- 27 旅客自動車運送事業者たる法人の代表権を有しない役員の変更にあっては、前年七月
一日から六月三十日までの期間に係る変更について、毎年 () までに届け出る
ものとする。
[A. 三月三十一日 B. 五月三十一日 C. 七月三十一日]
- 28 一般旅客自動車運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶
えず輸送の安全性の () に努めなければならない。
[A. 向上 B. 維持 C. 確保]
- 29 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第
48条各号に掲げる () 及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をし
なければならない。
[A. 業務の適確な実行 B. 点呼の実施 C. 乗務員の研修]
- 30 旅客自動車運送事業者は、疾病、疲労、() 状態にある乗務員等を事業用自動
車の運行の業務に従事させてはならない。
[A. 運転が可能な B. 集中力が欠落した C. 酒気を帯びた]

一般貸切旅客自動車運送事業 法令試験問題（回答）

問1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）内に記入して下さい。

- 1 一般貸切旅客自動車運送事業者は、いかなる場合であっても、乗合旅客の運送をしてはならない。〔**法第21条**〕 (×)
- 2 旅客自動車運送事業者は、日日雇い入れる者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。〔**運輸規則第36条**〕 (○)
- 3 事業用自動車の運転者等ごとに作成する乗務員等台帳には、運転者の運転の経歴を記載しなければならない。〔**運輸規則第37条**〕 (○)
- 4 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後100日以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報であつて国土交通大臣が告示で定める事項について、インターネット等を用いて公表しなければならない。〔**運輸規則第47条の7**〕 (○)
- 5 一般貸切旅客自動車運送事業者は、営業区域内から営業区域外への運送は行うことができるが、営業区域外から営業区域内への運送は行うことができない。 (×)
〔**法第20条**〕
- 6 旅客自動車運送事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して1年間保存しなければならない。〔**運輸規則第3条**〕 (○)
- 7 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を常に清潔に保持しなければならない。〔**運輸規則第44条**〕 (○)
- 8 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送約款を変更するときは、30日前までに届け出なければならない。〔**施行規則第11条**〕 (×)
- 9 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫の収容能力を増加させる場合であつて、事業用自動車の数に変更がない場合は、事業計画変更の手続きは必要はない。〔**運送法第15条**〕 (×)
- 10 旅客自動車運送事業者は、天災その他の事故により、旅客が死亡したときは、すみや

かに、その旨を家族に通知し、また、遺留品を保管しなければならない。 (○)

[運輸規則第19条]

11 一般貸切旅客自動車運送事業者の運転者は、乗務中は運行指示書を携行しなければならない。 [運輸規則第50条] (○)

12 国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業者について旅客の利便を阻害している事実が認められた場合に限り、事業改善を命ずることができる。 (×)

[法第31条]

13 一般貸切旅客自動車運送事業における事業用自動車には、その自動車の外側に「一般」と表示しなければならない。 (×)

[法第95条、施行規則第65条]

14 一般旅客自動車運送事業者は、年齢、運転の経歴その他政令で定める一定の要件を備える者でなければ、その事業用自動車の運転をさせてはならない。ただし、当該運行が旅客の運送を目的としない場合は、この限りでない。 (○)

[法第25条]

15 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している旅客のために、適切な処置をしなければならないが、旅客の運送を継続することは含まれていない。 (×)

[運輸規則第18条]

問2 次の設問に、法及び規則並びに告示等の文のとおり正しい語句を () に記載して下さい。

16 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、(5)年ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。 [法第8条]

17 一般貸切旅客自動車運送事業を営業者は、旅客の運賃及び料金を定め、あらかじめ、国土交通大臣に(届け出)なければならない。これを変更しようとするときも同様とする。 [法第9条の2]

18 自動車運送事業の用に供する自動車は、(3)ヶ月ごとに定期点検整備をしなければならない。 [車両法48条]

19 旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を(常時選任)しておかななければならない。

[運輸規則35条]

20 一般旅客自動車運送事業者は、特定の旅客に対し、不当な（差別的取扱い）をしてはならない。

[法第30条]

問3 以下の各設問の（ ）内に、正しい語句を〔 〕枠内から選択し、記号を記入して下さい。

21 自動車の（ B ）は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備することにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。

[A. 所有者 B. 使用者 C. 運転者] [車両法第47条]

22 旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、事業用自動車の運転者の（ B ）及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

[A. 休憩時間 B. 勤務時間 C. 出勤時間] [運輸規則第21条]

23 一般旅客自動車運送事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、（ C ）に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。

[A. 運行管理規程 B. 就業規則 C. 事業計画] [法第16条]

24 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、主として運行する路線又は営業区域の状態及びこれに対処することができる運転技術並びに法令に定める（ A ）に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。

[A. 自動車の運転 B. 事業計画 C. 運行管理] [運輸規則第38条]

25 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、収受した運賃又は料金の（ C. 割戻し ）をしてはならない。

[A. 割引 B. 払戻し C. 割戻し] [運送法10条]

26 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、安全や（ C ）の向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。

[A. コンプライアンス B. 安心 C. 利用者サービス]

[貸切バス選定・利用ガイドライン]

27 旅客自動車運送事業者たる法人の代表権を有しない役員の変更にあっては、前年七月

一日から六月三十日までの期間に係る変更について、毎年（ C ）までに届け出るものとする。

[A. 三月三十一日 B. 五月三十一日 C. 七月三十一日]

[施行規則第66条]

28 一般旅客自動車運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の（ A ）に努めなければならない。

[A. 向上 B. 維持 C. 確保] [法第22条]

29 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第48条各号に掲げる（ A ）及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

[A. 業務の適確な実行 B. 点呼の実施 C. 乗務員の研修]

[運輸規則第48条の3]

30 旅客自動車運送事業者は、疾病、疲労、（ C ）状態にある乗務員等を事業用自動車の運行の業務に従事させてはならない。

[A. 運転が可能な B. 集中力が欠落した C. 酒気を帯びた]

[運輸規則第21条]